

第5回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

| | | | | | |
|-----|---|--|--|---|------------|
| 会議名 | 第5回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会会議 | | | | |
| 日時 | 令和4年9月6日(火)午後1時30分～午後3時45分 | | | | |
| 場所 | 橋本市教育文化会館3階第3研修室 | | | | |
| 出席者 | 委員 (敬称略) | 堀内 秀雄 森田 知世子 佐藤 陽子 上田 ひと美 中谷 維志 | 平家 利也 井澗 千恵子 今田 実 岸田 昌章 東 美樹 | 田村 亜美 玉井 勝代 小原 秀紀 戸島 浩子 平田 敬二 | 【出席委員:15名】 |
| 欠席者 | 委員 (敬称略) | 乾 幸八 | 前田 陽一郎 | 是枝 美海 | 【欠席委員:3名】 |
| 事務局 | | 総合政策部長 土井 加奈子 政策企画課長 中岡 勝則 政策企画課長代理兼地域振興係長 前川 朋久 地域振興係主査 上原 慎太郎 | | | |
| 次第 | 1. 開会 2. 報告 ①各グループの進捗 ②提言案作成部会 3. 議事 ①提言案作成部会申し合わせ事項 ②職員研修 ③報告会形式 ④提言書内容 ⑤検証シート項目 4. その他 5. 閉会 | | | | |
| 資料 | 資料1 提言案作成部会報告 資料2 申し合わせ事項(案) 資料3 報告会形式(案) 資料4 提言書内容(案) 資料5 検証シート項目(案) | | | | |

1.開会

2. 報告

①各グループの進捗

【情報共有】

- ・スマホを持っていない方もいるので、情報発信については多様な方法を検討する。
- ・協働がわかりにくいので、ひな形を作って団体紹介(委員所属の団体等)を行うことを考えている。

【市民参画】

- ・子ども向けパンフレットについて検討していく中で、委員も橋本市が何を目玉に進めていきたいのかが分からない、学校現場で使ってもらうには先生にも協働や条例を知ってもらわないといけないなど課題が出た。第1期まちづくりパンフレット作成時に出た反省も生かしていきたい。
- ・サポーター交流会はコロナにより先が見えないので、開催が難しいと考えている。今のところは子ども向けパンフレットに力を入れていく方向で考えている。

【協働のまちづくり】

- ・橋本市協働の基本指針の見直しのポイントを提言書で提案することを検討していたが、かなり古いので庁内検討委員会や公募委員を募集して作り直すことを提言で提案しようと考えている。
- ・その他では職員アンケートや職員研修について、グループとして取り組んでいる。

②提言案作成部会

【事務局説明】資料1

- ・部会での協議事項は、申し合わせ事項、報告会形式、検証シート、提言書、その他。
- ・議事で詳細説明を行うため事務局より簡単な報告

3. 議事

①提言案作成部会申し合わせ事項

【事務局説明】資料2

- ・第1期の申し合わせ事項を参考に作成。
- ・申し合わせ事項の策定年月日は部会の設立が決定した第4回はぐくむ委員会開催日を記載。

【結果】

原案通り承認。

②職員研修

【事務局説明】

- ・令和3年度の職員研修は、コロナにより対面研修を中止し、3月に協働に関する動画を視聴する形式で実施した。
- ・グループではなく委員会全体で検討して実施する旨を前回会議で決定している。
- ・研修後のアンケートで、実施時期を早めてほしいとの意見がある。
- ・職員研修について、部会を作成し進めていきたい。
- 部会は正副委員長、各グループ長、及び各グループから互選された1名で組織。
- 互選された1名は提言案作成部会とは別の委員とする。
- ・昨年度は対面で職員とはぐくむ委員が交流の機会がある研修を行いたいとの希望があったため、この方向で検討。

【委員意見】

- ・職員研修の対象は？→全職員が対象。
- 職員にまだまだ浸透していないので、まちづくり課やシティセールス推進課などまちづくりの関連する課を対象に研修をしてみても？
- そのあたりも含めて、有効的な研修内容を部会で検討していく。
- ・他市の事例を参考にするため、ネットでの調査を行ってもよい。

【まとめ】

- ・自治と協働のまちづくりを広めるために職員研修の内容や方法を考える部会を作成する。メンバーは正副委員長、各グループ長、及び各グループから互選された1名。
- ・部会で作成した案を委員会で報告し、了承を得てから進める。

③報告会形式

【事務局説明】資料3

- ・資料を基に概要を説明。
 - ・名称は今回の会議で決定したい。
 - ・報告会の司会進行を佐藤委員にお願いしたい。
- 委員補足
- ・サブタイトルは主題の上につく。

- ・主題はかしこまらないものにする。
- ・第1期では市長に提言書を提出後、懇談会を行うのみであった。市民や職員に対して、2年間の成果を公開するものにならなかった。第2期はよりはぐくむ委員会らしく活動の成果を市民に対して報告する場を設けることとした。
- ・報告会に来ていただいた方からの意見や提案を聞き、委員会活動に生かしていく。

【委員意見】

- ・条例を絵に描いた餅にしない。条例ができたことで橋本市のまちづくりが活発になった、市民も町が住みやすくなったと実感できるように協働を広げていく。
- ・資料記載のサブタイトルは『市民と行政の協働で元気なまちへ』だが、『市民と行政の協働で元気な橋本市へ』のほうが、インパクトがあるのではないか。

【まとめ】

- ・おおむね了承された。
- ・主題を含め、報告会の内容は本日決定せず、グループや部会内で協議し、次回会議で内容の決定を行う。
- ・報告会の司会進行は佐藤委員に決定。

④提言書内容

資料訂正

誤 今の到達状況、現状、今後に向けた提案

正 今の到達状況、明らかになった課題、解決に向けた提案

【事務局説明】資料4

- ・資料を基に概要を説明。
- ・参考資料で第1期提言書内容を基に作成したワークフローのイメージを提示。

【委員意見】

- ・企業誘致でやってきた新しい企業に橋本市では協働を推進しているという周知活動を行っているか？
- 現状行っていない。方法等については今後検討していく必要がある。
- ・5年10年先の担い手となる方に問題提起をしていく必要がある。
- 橋本市では長期総合計画の後期基本計画を策定中でワークショップを市民向けに2回実施した。9月17日には高校生を対象としたワークショップも予定している。高校の学習に関わらせていただくことも含めて、高校生の意見を聞いて、若い方の考え方を浸透させていきたい。

⑤検証シート項目

【事務局説明】資料5

- ・資料を基に概要を説明。

- ・レイアウトは今後変更の可能性あり。
- ①～⑤の議事終了後、グループ討議を行った。
- グループで出た意見は、次回の作成部会や SNS で共有を行う。

4. その他

○委員より

- ・子供たちの学習の成果が市や地域のためになっていると実感してもらうため、総合的な学習の時間を中心に子供達が地域と協働で学習したことを市長に提案する取り組みを行っている。今年度は高野口小学校、清水小学校、紀見北中学校が希望している。
- ・学校現場での協働の最たる取り組みは学校運営協議会(コミュニティスクール)。
- ・先のことを決めるのも大事だが、目の前にあることを決めることも大事。
- ・グループ活動の内容が提供資料にあまり反映されていないので、残念。
- ・書籍紹介『協力のテクノロジー』松原明さん、大社充さん執筆。堅苦しい理論書ではないのでよかったら読んでみてください。

○橋本市の自治と協働をはぐくむサポーター制度(以下、『サポーター制度』という。)

- ・令和4年4月より、インターネット政策モニター制度(以下、『モニター制度』という。)を統合した。
- ・現在サポーター制度登録者150名うち、モニター制度登録者は42名。

【委員意見】

- ・モニター制度登録者には了解を得たのか？
→統合前に案内を送付し、サポーター制度への移行を希望されない方はメールにて退会ができる旨通知を行った。
- ・はぐくむ委員会にも事前相談しても良かったのでは。
- ・モニター制度登録者は意識が高い人が多いのか？
→市政に関するアンケートに答えていただけの方なので、意識は高いと考える。

5. 閉会

以上

【会議録署名欄】

委員長

堀内秀雄

【会議録署名欄】

委員 森田 知世子

【会議録署名欄】

委員

岸田 昌章